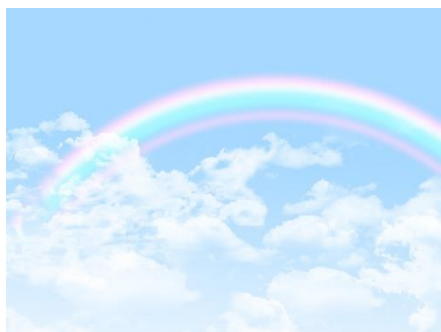


日女薬カレントニュース第 23 号(2022 年 7 月配信) のご紹介

早くも梅雨明けし、熱中症には油断大敵です。



環境省は、令和4年7月7日(木)に「令和4年度熱中症対策に係るシンポジウム」をオンラインで開催します。本シンポジウムでは、熱中症の基礎的な知識を始め、新しい生活様式と熱中症、高齢者の熱中症対策、学校現場(スポーツ中心)や子ども(幼児・園児)に関する熱中症対策、災害現場における熱中症対策等について最新の役立つ情報を提供いたします。どなたでも無料で参加いただけます(事前登録制、申し込み締め切り7月5日)。

申込フォームはこちら <https://nws.stage.ac/heat2022/regist/>

日女薬カレントニュース第 23 号では、

- ・日本肺癌学会市民公開講座「肺がんの薬物治療」講義動画紹介
- ・女性の健康支援—HPV ワクチンについて関連資料紹介
- ・医療安全確認クイズでは「重篤副作用疾患別対応マニュアル 薬剤性せん妄」を取り上げます。

【感染症追加情報:東邦大学名誉教授 村井貞子先生】

猛暑の季節を迎えて、コロナ感染予防と同時に熱中症予防にご注意ください。

更に、6月21,22日の2日間、都内の小学校でのインフルエンザによる学年閉鎖があったことが報道されております。オーストラリアにおける過去5年間を越える流行もあり、既に昨年11月発行のカレントニュース第19号の特別寄稿で述べましたが、過去2年間殆ど流行を経験しなかった日本では、国民の免疫低下が予想される為、秋になり COVID-19 との同時流行も考えられます。インフルエンザワクチン接種、コロナと同様な個人の感染予防対策の啓発が必要です。

【2022 年度 日本女性薬剤師会 学術講演会 9月4日(日)13:00- ハイブリッド研修会】

「AI 活用で自然災害に強い日本へ～すべてはつながる命のためへの行動変容～」

日本は、諸外国に比べ、地震、津波、台風、豪雨、豪雪、河川の氾濫、洪水、土砂災害、火山噴火等、自然災害が多い国です。国内では日々どこかで地震が起こっており、東日本大震災などは、記憶に新しいところです。災害では、死者・行方不明者が発生し、災害時には、迅速で的確な医療が求められます。近年、AI を用い、防災や減災への取り組みも進んでいます。日頃からの準備や訓練も必要ですので、この機会に専門の先生方にお話を伺いましょう。

講演1 最近の医薬行政(仮) 厚生労働省 大臣官房審議官 山本 史氏

講演2 AI で防災・減災に取り組めるか(仮)

木村情報技術会社 代表取締役 木村 隆夫氏

講演3 災害の現場から 医療チームとしてのこれまでの経験と今後(仮)

平成立石病院副院長 大桃 丈知氏

- ・ハイブリッド研修会(会場参加・Web 参加、参加費同額)
- ・会場 フロントプレイス日本橋10F クオールアカデミー研修センター
- ・参加費(受講料) 会員 5000 円、非会員 7000 円、薬学生 1000 円
- ・取得単位 G16 受講認定単位 2 単位

詳細はこちらから [JWPA【一般社団法人 日本女性薬剤師会】\(jwoya.org\)](http://jwoya.org)



日女薬会員ページから日女薬カレントニュース第 23 号(2022 年 7 月版)をご参照ください。